



# あのねレター

Vol. 161

H30.8.1  
なかよし保育園  
子育て支援センター  
事業推進委員会  
Tel 086-253-0249  
ホームページ  
http://www.kids-nakayoshi.jp/  
nakayoshi/



「赤ちゃんクラブ」をしました  
今回は、子育て支援センターでの開催で、親子でするスキンシップ中心の触れ合い遊びを紹介したり、育児の悩みをみんなで話合ったりしました。

「七夕会」をしました  
七夕に飾る笹飾りを作って笹に飾ったり、ミニシアターを見たりして季節の行事をみんなで楽しみました。



- \*サロン\*  
月～金曜日の10:00～11:30 12:30～16:00の好きな時間に来て子育て支援センターの部屋や、園庭や水遊びをして遊んでいただけます。  
水分補給用のお茶を持って来て下さい♪
- \*ランチタイム\*  
月～金曜日の11:30～12:30  
お母さんが作った弁当を友だちやお母さんと一緒に食べましょう。
- \*オープンスペースについて (毎週火曜日)\*  
みんなで遊んだり、親子で玩具や戸外などで遊みましょう。  
午前中の時間に絵本の読み聞かせやペープサート劇などの出し物を行います。参加してみてくださいね。

「夏祭り」をしました  
ヨーヨー釣りをしたり、絵の具遊びで、かき氷を作ったりしました。最後にお化け屋敷にも、おっかなびっくりながらもチャレンジしました。夏ならではの経験をすることができました。



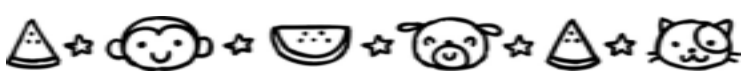
## 8月の予定

月	火	水	木	金
		1 サロン	2 サロン	3 サロン
6 サロン	7 オープン スペース 午後:サロン	8 離乳食講座 午後:サロン	9 サロン	10 サロン
13 サロン	14 サロン	15 サロン	16 サロン	17 サロン
← 水遊びあそびは、お休み →				
20 サロン	21 オープン スペース 午後:サロン (避難訓練)	22 サロン	23 サロン	24 サロン
27 サロン	28 オープン スペース 午後:サロン	29 サロン	30 サロン	31 サロン

### 予定の詳細について

離乳食講座  
日時：8月8日(水) 10時00分～11時30分  
(時間厳守でお越下さい)  
場所：子育て支援センター  
講師：多田麻由美先生(管理栄養士)  
定員：6名  
持ち物：エプロン、三角巾、マスク、手拭タオル  
※子どもは同じ部屋で託児を待っています。  
◎すでに予約でいっぱいになっています。申し訳ありません

- ♪ 9月の予定 ♪
- ◎9月19日(水) 赤ちゃんクラブ 10時～11時30分 (0歳児対象)
  - ◎9月20日(木) ミニ運動会 10時～11時30分
  - ◎9月26日(水) ふれあい遊び 10時～11時30分 (0歳児対象)
  - ◎9月27日(木) リトミック 10時～11時30分 (1歳半～3歳未満児対象)
- ※変更のある場合はホームページで確認をお願いします。  
※全て1ヶ月前より予約が可能です。支援センターの来園時や、センターの開園時間内に予約をして下さい。  
また、定員になり次第締め切りの講座もありますので、ご了承ください。



おねがい  
講座の予約は、来園時のみに受付をします  
ので職員に声を掛けて下さい。電話予約は  
できません、よろしくお願い致します。

## 家族旅行～家族の絆を強くするため、子どもの成長のため～

育児というのは、子ども達のごく自然な成長や発達力、自立する力をサポートして行くことだと思う。子どもは愛されることでいい子になる、子どもの自尊心を傷付けることなく、愛情を実感できる伝え方をしましょう。

近年の家庭では、日常的にばらばらの生活を送っていることが多いと思うので、家族みんなでキャンプ、ハイキング、川遊び、山登り、動物園、水族館などいろいろな場所へいろいろな形の体験学習を経験するため旅してみることは非常に家族の絆を深めます。

旅先なら同じ景色を見て感動もするし、家族の信頼関係をも育み、親と子の絆を深めてくれる。電車やバスに乗ったり、宿などでいろんな方に声をかけたりかけられたり、人との関わり合いがコミュニケーションの土台となっていき、社会性が身に付くのではないのでしょうか。

自然な活動の中で転んだり、ぶつかったり、押されたり、思いきり自由に遊ぶほど身体能力は磨かれて行きます。自然と人を気遣うことや思いやることも覚えることができる。見て、聞いて、触って、匂いをかいで、時には食べてみることで学習（体験）の楽しさを子ども達に実感させることが大切です。旅には、子どもの生きる力を伸ばす要素がいっぱいです。これ以上の社会勉強の場はないと思います。

この体験が、子どもの心と体の発達にいいことは自然体験が豊かな子ほど自己肯定力が高かったり、体力に自信があったり、共感力が高かったりするというさまざまな調査研究のデータがあるそうです。「小さな成功体験を繰り返す」ことが子どもに達成する喜びが培われ、やり抜く力を育み、子どもに決断力などを身につけさせることができると言われる。賢い選択ができるかどうかは、日々の経験と訓練が必要です。

子どもにはそれぞれの特徴があり、個性を殺していけない、同じようには成長しません。他人と比べてはいけない、過剰な比較は子どもに悪影響を与えてしまいます。

何よりも大切なのは子どもの得意なものを見つけることです。「好きこそ物の上手なれ」であります。子どもが努力しても出来ないことを、親は期待したり、強制するようなことがあってはならないのです。だから、親は時間をかけ、子どもにとって一番好きな自分探しを応援してあげることにはいたしましょう。

子どもの得手、不得手を見ていろんなことを勧めて、選択肢を広げてあげ、迷っている時は話を丁寧に聞いてあげましょう。子どもには、何でも独り占めしたが、何でも自分中心に考え、自分さえよければという人になってほしくない。感謝の気持ちを忘れずに、日々恩返しをしていくことのできる人になってほしいのです。このようなことを思い考えながら、子ども自身の成長を願い、家族旅行を実行したいと思うが……今夏の猛暑日と思うとどうなるのか きびしい??



子育て委員 高橋 裕

## 夏の皮膚トラブルについて

### 皮膚トラブルは「起こさない」「広げない」「悪化させない」

夏は皮膚のトラブルが多い季節です。小さな子どもは皮膚が敏感で、ちょっとしたことで皮膚トラブルを起こしがちです。着替えやおむつ替えの際に皮膚の状態に注意し、早めにキャッチしましょう。

#### 「症状が長引く皮膚トラブル」

##### ◎あせもの時

汗を分泌する「汗腺」が詰まって炎症を起こしたり、汗に含まれる塩分で皮膚がかぶれたりすることで起こります。ですが汗をかくことで気温に対応できる体を作ることにもなります。

##### ◎予防法

- 汗をかいた後に、きちんとふいたり、シャワーを浴びたりして、皮膚を清潔にする。こまめに着替える。

##### ◎虫刺されの時

蚊やブヨによる虫刺されは3歳頃までは蚊に刺された部分がきく腫れることがあります。又、かき壊しはとびひの大きな要因になります。

##### ◎予防法

- 虫よけをする
- 刺されたら、皮膚を冷やし清潔にし、痒み止めの塗薬で対応をする。

##### ◎乳児湿疹の時

発疹や乾燥による炎症が起こりやすく、皮膚の乾燥からくるトラブルのことです。

##### ◎予防法

- 皮膚を清潔に保ち、保湿ケアを続ける。

##### ◎おしめかぶれの時

オムツの中が蒸れて皮膚がふやけた所に、お尻を強く拭くことや尿や便の成分が刺激となって炎症を起こします

##### ◎予防法

- オムツをこまめに交換し、皮膚を乾いた状態にする
- 炎症がひどく痛がる時は、拭くのではなく優しく洗い流す

#### 「うつりやすい皮膚の病気」

##### ◎とびひの時

うみを持った発疹が「とびひ」するように体のあちらこちらにできる病気です。主な原因はブドウ球菌や連鎖球菌で、抗生物質がよく効みます。皮膚にできた小さな傷をかき壊し、炎症部分から感染し、発疹に触れた手で他の部位に触れることで感染が広がります。

※ 早目の受診をおすすめします。

##### ◎予防法

- かゆみをできるだけ少なくするように皮膚を冷やす
- 爪など皮膚に触る所を常に清潔にする

「蚊」は気温が高い猛暑日には、葉っぱなどの裏に隠れて活動を休止しているそうです。草むら等に入る際には、虫よけをしましょう

